

# おくじま通信



〈理念〉・最善をつくす信頼ある病院 ・献身と寛容の心で行う医療と介護

## 平成23年度 目標

- 1、輪番制救急病院としての体制を整備
- 2、地域連携の強化
- 3、Ope棟建築計画の実行
- 4、訪問看護及び居宅介護支援事業所の再開
- 5、外来予約システムの検討

### 平成22年度総括

平成22年度は前年度比で外来患者数2%減、入院患者0.34%減となっております、外来患者数及び入院患者数は救急日における患者数も含まれておりますので、休日における救急日の数で多少の影響がありますが、昨年度と同等の数字を残すことができました。また、年間の手術件数は昨年度より3%増と微増ながらも良い数字でありました。これもひとしおに職員及び関係各所の皆様のおかげであり、今後もより一層の発展と地域の皆様への貢献を目指して努力していきたくと思います。

### 平成23年度目標について

#### 1、輪番制救急病院としての体制を整備

当院は救急指定となり40年以上の歴史があり、今後も継続して救急医療を行って行きたいと思っております。なぜ、これが目標になるのかといいますと、医師及びその他スタッフの負担が大きくなったことと当院の高年齢化も伴い、救急病院として継続していくことが現状の続く限り厳しい状況となっておりますので、職員一同でがんばって地域を支えていけるよう努力していきたくと思っております。

#### 2、地域連携の強化

地域連携の強化としまして、当院はこれまでも地域の施設との連携を行って行っておりましたが、今後はスタッフを増員することにより、より一層地域連携に力を入れることにより、密接な関係を築いて行きたいと思っております。

#### 3、Ope棟の建築計画の実行

これは、昨年度に計画が挙げられた手術棟の建築を3カ年～5カ年にて完了するよう開始することです。

#### 4、訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所の再開

今年度より、休止中であった訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所を再開いたします。それにあたり、これまで以上に地域の皆様に安心と安全を提供できるよう努力してまいります。

#### 5、外来予約システムの検討

患者様からの要望が多くありましたので、外来予約システムを検討いたします。最初は、一部の診療科から始めていけたらと思います。

# 奥島病院マラソン部の活動だより

今年も桃源郷マラソンがやって来た。毎年多くの人々が松野町を走りぬけている。

奥島病院でも昨年何人かが参加しており、今年は子供も含めなんと25人も参加すると言うではないか！せっかくだから揃いのシャツを作り、バスをして、私も取材記者として参加する事にした。種目は3<sup>キロ</sup>・10<sup>キロ</sup>・ハーフマラソンのランニング3種目と2<sup>キロ</sup>のウォーキングである。

私が参加するのは2<sup>キロ</sup>のウォーキングである。毎朝5<sup>キロ</sup>は歩いている記者としては2<sup>キロ</sup>は軽すぎる距離ではあるが、走るのはちょっと自信がないのでやむを得ない。当院からは男子若者5人と女子若者2人と中学生1名が10<sup>キロ</sup>マラソンに出場する。他の参加者と子供達は私と同じ2<sup>キロ</sup>ウォーキングである。

朝6時50分にチャーターしたバスが病院駐車場を出発する。寝ぼけ眼の大人達とは対称的に子供たちの元気な事！楽しい一日の幕開けである。松野町に着き、各々受け付けを済ませるとゼッケン・プログラム・トン汁・おにぎりの引換券等を渡される。今年は『がんばろう ● 日本！』のシールと喪章も付けて走る。周りはスタート前のなんとも言えない高揚したムードであった。

いよいよ2<sup>キロ</sup>ウォーキングの出発！これは6カ所のスタンプラリーをしながら歩く。歩き始めてアレッ違うじゃないか！？毎朝のウォーキングは5<sup>キロ</sup>とは言え、ほとんど平坦な道であった事に気づかされた。約300人が一列になって山道を歩いていく。春の光を浴びながら登って行く私達を 蓮華や辛夷の花・山桜が迎えてくれる。

城史跡で一個目のスタンプを押す。なんと我が病院のつわものはしっかりと夕食のおかず「土筆」を抱えているではないか。どこにあったのだろうか？？大した者である。

二個目・三個目のスタンプは、小山を2つほど越えて行った所にあるが、小さい子供も親に手を引かれてしっかりと歩いている。出発の時は肌寒かったのに徐々に暑くなりシャツを一枚脱ぐほどであった。四個目のスタンプは、町へ降りて昔の佇まいの残る酒屋でシールを貼ってもらう。

そして、五個目のスタンプは、天折の俳人芝不器男記念館で押す。ここではお茶を頂いてじっくり記念館を見せて頂く。私が27歳で逝った俳人の句を眺めていると…。当院のベテラン看護師は『左副睾丸肉腫、腹腔内リンパ節転移』で亡くなったのですねえ」と呟く、流石着眼点が違うなあ…。

六個目のスタンプはウォーキングのゴールの場所にあり、10<sup>キロ</sup>ハーフマラソンのゴール前でランナーが次々にゴールするのを応援する事が出来た。

ゴール後、豚汁とお握りを食べゴールした快感を味合う。ランナーの順位の報告はうけていないが、それぞれに気持ち良い汗を流した事と思う。

帰り道ウォーキングに参加した誰かが、「来年は走ろうかな」と言っていたが、そんな気分させてくれる気持ちの良い桃源郷であった。今年の桃源郷マラソンは 東日本大震災で中止になる行事の多い中、勇気ある英断だと思う。募金箱に義援金を入れ、喪章を付け、『がんばろう○日本！』のシールを貼って駆け抜けた桃源郷は毎年とは違う意味があったのではないか。

大会関係者の方々・松野町の方々ありがとうございました。来年もぜひ参加したいと思います。皆さんも一度参加してみても如何ですか？



## 【看護部ニュース】

この度、当院所属の准看護師である5名が無事に看護学校を卒業され国家試験に合格しました。皆さんおめでとうございます。

※当院は、奨学金制度がありますので看護師に興味がある方はぜひ当院職員に御相談ください。



この度、休止中であった「訪問看護ステーションおくじま・居宅介護支援事業所おくじま」が再開いたします。主に、道後地区を中心に地域に根付いた看護・介護を行って行きたいと思っておりますので宜しくお願いします。

【営業日】 月曜日 ~ 金曜日

【営業時間】 8時30分 ~ 17時

【休業日】 土曜日・日曜日・祝祭日

【住所】 〒790-0843 松山市道後町2丁目2-1

【電話】 訪問看護ステーションおくじま Tel(089)-925-2526

居宅介護支援事業所おくじま Tel(089)-925-2551

Fax共通(089)-925-2558

# 奥島病院エピソード

# ～忘年会～

奥島病院は、昨年12月18日に忘年会を開催いたしました。忘年会には121人の職員と関係者の方々に参加していただき、皆様有難うございました。おかげ様により盛況で終了することができました。

さて、当院の忘年会とはどういったものなのかというのを少しながらでもご紹介できたらと思います。

まず、忘年会の最初はお決まりである院長によるスピーチと乾杯から入ります。だって、普通ですよ。そして、食事を頂きながらその年で優秀であった部門又は個人に対しての表彰式が行われました。表彰を受けた方々おめでとうございます。

そして、毎年恒例となりました名誉院長である奥島団四郎によるサンタクロースの格好でのクリスマスプレゼント配布が行われました。

最後に、当院忘年会における最大のビックイベントである「かくし芸大会」が始まります。今回は6グループに参加していただきました。昨年流行した、KARAやAKB48のダンスを披露したいと、たいへん盛り上がりました。今回参加していただきましたグループには、また今年の忘年会の為にかんばっていただきたいと思っております。



また、奥島病院はその他にもいろいろな行事を行っております。

4月頃：お花見

8月頃：ビアガーデン

10月頃：職員旅行

12月頃：忘年会

などなど

定期活動：2ヶ月間隔にてボーリング大会

不定期活動：マラソン部、男の会(飲み会)、その他いろいろやっています！！

## ★★ 奥島病院 野球部 だより ★★

奥島病院の野球部の活動報告を行います。

前号にて発表したとおり、野球部の再結成を行いました。今季は、合計6戦を行いました、初戦及び第二戦に大敗してしまいましたが、その後の試合は僅差による敗戦と、チームもまとまってきましたので、次こそは初勝利を目指してチーム一丸となりがんばって行きたいと思っております。

当チームは、20代から60代まで、幅広い年齢層のチームとなっております。練習も行っておりますので、性別問わず参加したい方はどうぞ、そこら辺の野球部員までご連絡を！！

**おまけ 野球部にて痛い？事件**

練習中にて、某り〇男性スタッフの局部にボールが！！！！1度ならず2度までも！！



# ～新任Drのご紹介～

今年の1月より当院に新たな先生が仲間に加わりました。御存知の方も多くいらっしゃると思いますが、改めてご紹介をさせていただこうと思います。

梅岡秀一先生は香川医科大学を卒業後に静岡てんかん・神経医療センターにて勤務、その後米国ケース大学てんかんセンターに留学のため渡米、帰国後に静岡てんかん・神経医療センターで留学の知識を生かして治療を行っておりました。そして、今年の1月に地元である愛媛・松山の方々へ、今までの経験と知識を生かした診療を行うために帰郷されました。

## 梅岡先生より一言

「てんかん発作外来も行っております。てんかんの診断やお薬について、さらには外科治療の適応について、なんでもご相談ください。」

### 梅岡先生：詳細情報

日本脳神経外科専門医(日本脳神経外科学会)

日本てんかん臨床専門医(日本てんかん学会)

VNS(迷走神経刺激)資格認定医

医学博士

### 梅岡先生による診察予定の日程について

火曜・木曜・土曜日 午前 9:00 ～ 12時

月曜・金曜 午後 13:30 ～ 17時



診療科目		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
脳神経外科	午前	中川	梅岡	中川	梅岡	中川	梅岡
	午後	梅岡	中川		中川	梅岡	

診察時間 平日 午前:9時～12時 午後:13時～17時  
水曜・土曜日 午前:9時～12時 午後休診

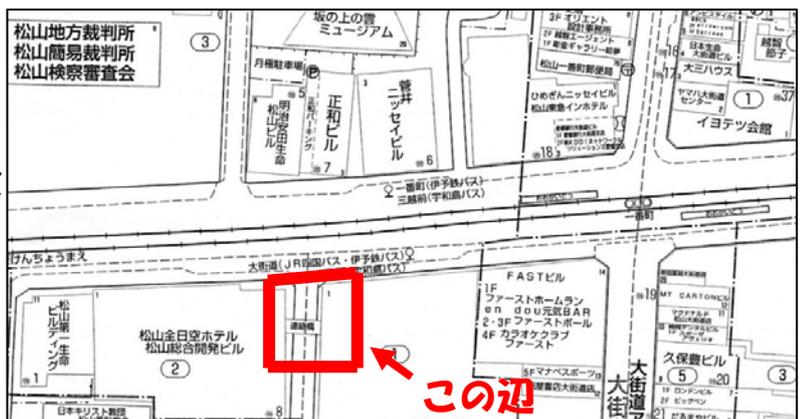
脳外科医が2名体制となりました、これにより今まで以上の医療サービスを皆様に提供することが可能となりましたので、どうぞ宜しくお願いいたします。

## ～奥島病院 メモリーズ その1～

奥島病院は実は100年近い歴史ある病院だと知っていましたか?? そして、実は松山市で初めて救急医療を始めた病院だと知っていましたか?? といった奥島病院の歴史を少しずつご紹介していこうと思います。

当院は大正4年5月に奥島愛治郎により松山市一番町に開院しました。愛治郎は外科の名人として有名だったようです。なんでも、電車で轢かれて負傷した足を自分で手術したとかどうか…。(事実かは不明ですが)

その後、昭和20年の戦災で焼失するまでは一番町に病院があったとのこと。



↑これは、現在の地図なのですがこの辺にあったとのこと。ずいぶんいい立地にあったんだなあ…。